世界史　授業 №96　テーマQ.&A.プリント

1．今日のテーマ・クエスチョン

独立宣言の狙いと、その効果とは？

2．テーマ・アンサーのキーワードをピックアップ
※教科書該当ページ（P．154・155）の中から見つけよう！

1774年、植民地側は（　1　）をひらいて本国に抗議したが、翌75年、ついに武力衝突がおこった。植民地側は、（　2　）を総司令官に任命してたたかい、1776年7月4日、（　3　）らが起草した独立宣言を発表した。この宣言は、圧政への抵抗権を主張した（　4　）らの思想をもとに基本的人権と独立の正当性をうたったもので、（　5　）革命の人権宣言とともに、近代民主政治の基本原理となった。
独立軍は当初苦戦したが、イギリスと対立していた(5)やスペインの参戦、ロシアや北欧諸国などの中立政策にもたすけられて、しだいに優勢となった。孤立したイギリスはヨークタウンの戦いに敗れ、1783年の（　6　）でついにアメリカ合衆国の独立を承認した。

＜記入欄＞
1（　　）2（　　）3（　　）
4（　　）5（　　）6（　　）

3．今日のテーマ・アンサー（テーマ・クエスチョンの答）確認
※今日のノートに取った内容や2.でピックアップしたキーワードを参考にしよう。

T.Q.「独立宣言の狙いと、その効果とは？」

T.A.
人口の3分の2の愛国者達の［①　　］を強めることと、［②　　］の支援を得ることを目的とした独立宣言は成功した。1778年にフランス、79年にスペイン、80年には［③　　］がアメリカ側に参戦し、同80年にロシアの［④　　］が提唱した［⑤　　］同盟が結成された。これらの国々が参戦した動機には、独立宣言が当時流行った啓蒙思想に合致していたことも挙げられる。

＜記入欄＞
①［　　］②［　　］③［　　］
④［　　］⑤［　　］

［　］年［　］H　No.［　　］　氏名［　　］